

中津川市駐車場整備事業経営戦略

団 体 名 : 中津川市

事 業 名 : 駐車場事業

策 定 日 : 令和 3 年 2 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

※複数の駐車場を有する事業にあつては、駐車場ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非適用	事 業 開 始 年 月 日	昭和52年4月1日
職 員 数	0	施 設 名	①中津川駅前市営駐車場 ②中津川駅前広場市営駐車場
種 類	届出駐車場	構 造	①立体式 ②広場式
立 地	駅	建設後(建替後)の経過年 数	42 年
駐 車 場 使 用 面 積	①3,718 ② 440 m ²	収 容 台 数	①123 ② 18 台
営 業 時 間	①7時~23時 ②24時間		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	—	
	イ 指定管理者制度	指定管理者制度(代行制)	
	ウ PPP・PFI	—	

(2) 料金形態

※近隣駐車場に比較して減免を行っている場合は、その点についても記載すること。

料金の概要・考え方	<p>①中津川駅前市営駐車場 最初の120分無料 7時～23時 30分毎に100円 22時～翌日8時 710円 ※中心市街地活性化を推進するため、120分の無料時間を設けている。</p> <p>②中津川駅前広場市営駐車場 最初の30分無料 7時～22時 30分毎に100円 22時～翌日7時 60分ごとに100円 ※鉄道、バス等の公共交通機関の利用促進及び駅前の交通渋滞緩和のため、送迎用に30分の無料時間を設けている。</p> <p>※近隣の他の駐車場の状況等からの総合的な判断により料金を見直す。</p>
-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 現在の経営状況

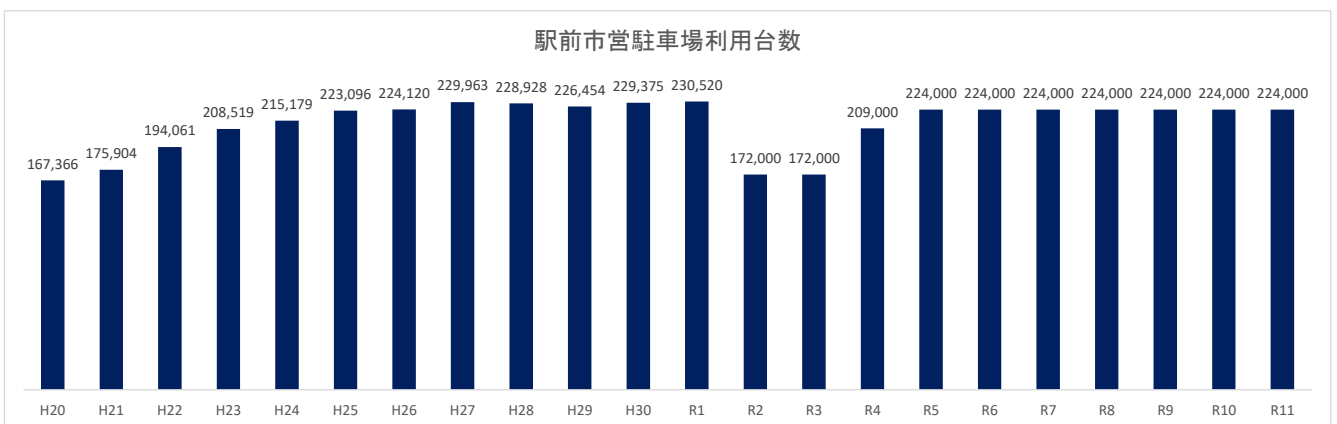
※直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」(公営企業三課室長通知)による経営比較分析表)を添付すること。

<p>収益的収支比率が143.9%で、また他会計補助金比率も0%であり黒字経営となっている。 中津川市駅前市営駐車場を個別にみると、近年稼働率が低下する傾向にある。これは周辺に民間駐車場の整備が充実してきたためと考えられる。一方中津川市駅前広場市営駐車場は、稼働率は上昇傾向だが収入が減少している。料金上限設定のある民間駐車場が整備されてきたため、長時間利用者が移行した影響と考えられる。</p>

2. 将来の事業環境

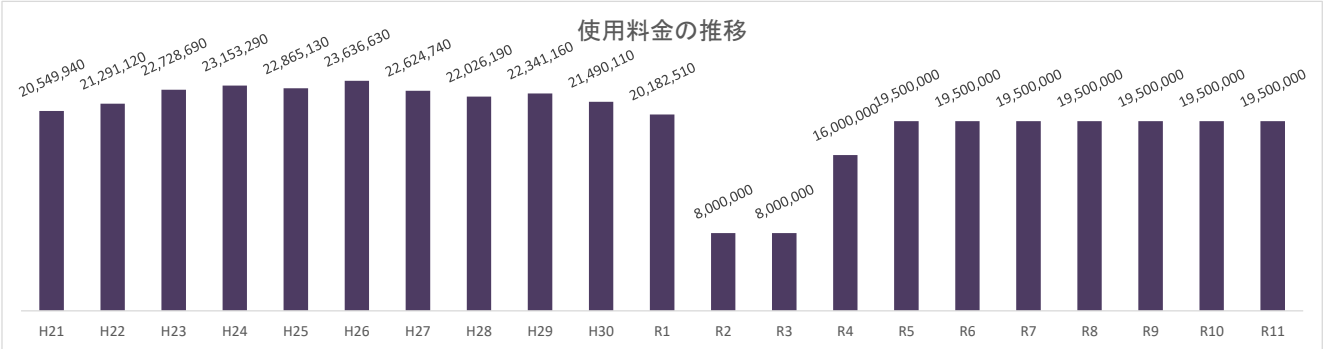
(1) 駐車場需要の見通し

<p>利用台数は平成27年度まで増加を続け、以降は横這いである。自動車保有台数が増加するにつれて駐車場需要が高まり、当該駐車場の利用台数は増加を続けてきたが、利用料に上限を定めた低料金の民間駐車場が整備されはじめたことで利用者が移行し、当該駐車場の利用台数が頭打ちになったと考えられる。長時間利用者は減少したが、中津川駅周辺の中心市街地へ訪れる短時間利用者の需要は安定している。令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛の影響を受け、利用台数が減少した。外出自粛の影響は令和3年度も続き、令和5年度以降は感染拡大が収束すると予想しているが、近年の民間駐車場の増加も考慮し、新型コロナウイルス感染拡大以前よりも若干低い水準までの回復になると見込んでいる。</p>



(2) 料金収入の見通し

自動車保有率の増加に伴って駐車場需要が増え、H26までは料金収入が増加を続けた。しかし近年は低料金の民間駐車場が整備されたため、利用者がそこへ移行していると考えられる。特に長時間利用者が料金の上限設定がある民間駐車場に移っているため、その分の料金収入が減少する。また、新型コロナウイルス感染症防止のための外出自粛が続いており、この先数年は利用台数が減り、料金収入が減少すると考えられる。令和5年以降は新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、料金収入が回復する見込みだが、民間駐車場の増加の影響で新型コロナウイルス感染拡大以前と比較し料金収入は減少すると考えている。



(3) 施設の見通し

中津川駅前市営駐車場は建設から40年以上経過しているため、老朽化が進んでいる。H21に耐震改修工事、H24にスロープ路面修繕工事、R1,R2に料金精算機の更新といった大きな工事等は実施済みであり、当面は大規模改修の予定はない。今後は安全性確保のため、経年劣化が原因となる小規模な修繕工事の対応をしていく。

なお、安全性確保のための大規模修繕の可能性も視野に入れ施設の点検も続けていく予定である。また、利用者の利便性が向上する改修についても検討を行う。

(4) 組織の見通し

指定管理者制度を導入しており、現在職員は0人である。今後も同様の体制で運営する予定である。

3. 経営の基本方針

- ・建物老朽化による大規模修繕の可能性も視野に入れつつ、受益者負担の原則に基づき一般会計からの繰り入れを抑えられるように、将来に向けて運営費用を確保する。
- ・中心市街地に赴く市民等の駐車場として、中心市街地の活性化を支援する。
- ・利用者のニーズを把握し、指定管理者と連携して利便性向上策を検討し、顧客満足度の向上に努める。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	建設から40年以上が経過し老朽化しているため、過剰な投資は避け、必要最低限の投資を行っていく。
-----	-------------------------------------------------

- ・毎年施設全体で150万円程度の修繕費を計上し、日常的な修繕の対応を行う。
- ・指定管理者と連携し、今後必要となる修繕箇所について検討を行う。
- ・利用者の利便性の向上につながる施設改修を検討する。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	将来必要となる修繕費をまかなえるよう、より多くの料金収入を安定的に確保するための対策を検討する。
-----	--------------------------------------------------

※財源(料金、企業債、繰入金、国庫補助等)の積算の考え方等について記載すること。
※また、収支計画の策定に当たって反映した財源確保の取組について、内容(対象駐車場、時期、金額など)を記載すること。
<取組例>

- ・料金に関する事項
- ・資産の有効活用(例:遊休資産の売却や貸付、債券運用の導入、太陽光発電など)に関する事項
- ・その他

(以下本文)

- ・指定管理制度(代行制)を導入しているため、利用者からの使用料が主な収入となる。
- ・料金収入を増加させるため、駅前市営駐車場の無料時間の見直しを検討する。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

- ・駐車場の合理的・効率的な管理運営を行うため、引き続き指定管理者制度を継続する。
- ・指定管理料13,921千円
- ・公課費1,048千円

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	指定管理者と連携を図り、民間企業が持つノウハウを活かした運営を行い、利用者へのサービス向上を図る。
駐車場の配置の適正化	特になし。
投資の平準化	修繕箇所や設備投資をすべき箇所を精査することで、計画的な投資を行う。
その他の取組	

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	近隣駐車場の料金設定の調査及び利用者に対し利用目的のアンケートを定期的を実施し、必要に応じて適切な料金設定を検討する。
利用者増加に向けた取組	観光客の利用を増やすため、駐車場の利用について様々な方法で周知する。
企業債	企業債はない。
繰入金	現在繰入金はなく、今後も繰入の見込みはない。
資産の有効活用等による収入増加の取組	観光客により秋季は収益が増加するが、それ以外の時期も収益を増加させる対策を検討する。
その他の取組	

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	指定管理者制度(代行制)を導入しており、管理業務を委託する。
管理運営費	管理運営のために必要最小限の費用としている。
職員給与費	-
その他の取組	

5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	<ul style="list-style-type: none">・中津川駅前市営駐車場 駐車場を持たない店舗が集中する中心市街地地域に立地しており、当該地域での買い物や観光のために活用されている。また違法駐車抑制に寄与している。・中津川駅前広場市営駐車場 鉄道駅に隣接しているため、その利用者の利便性が向上している。特に長距離の徒歩移動が難しい高齢者の鉄道利用を容易にしている。
公営企業として実施する必要性	<ul style="list-style-type: none">・中津川駅前市営駐車場 民間駐車場にはできない、長時間の無料時間を設定できる。これにより中心市街地地域への来訪者の利便性を向上させ、地域の活性化に貢献している。・中津川駅前広場市営駐車場 鉄道駅に隣接していることで、公共交通の利用促進に寄与している。

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	随時行われる利用台数及び使用料収入の報告により経営状況の確認を行い、大規模改修等が発生した際に経営戦略の見直しを行う。
---------------------	-------------------------------------------------------------